

施策 0501 子どもの可能性を伸ばす教育の充実

■施策をとりまく環境の変化

少子化により児童・生徒数が減少しています。時代の変化に対応し、新学習指導要領の実施や完全学校週5日制など新たな教育環境のなかで、子ども一人ひとりの個性を尊重し、自ら学び考える力や豊かな人間性など、「生きる力」を養う教育が求められています。

■施策の目的

子どもの個性を尊重した教育を充実させ、自主的に行動し、豊かな人間性を持った健康な子どもを育成します。

■施策の目的達成度に関する指標（施策成果指標）

きめ細かな
教育メニュー

番号	成果指標名	現状値 平成14年度	前期目標値 平成20年度	後期目標値 平成25年度
01	「生きる力」などの学習内容を理解している児童・生徒の割合	小学生78.0%	→	→
		中学生80.0%		

◆成果指標選択理由

指標 01

自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力や豊かな人間性を備えた児童・生徒を育てるための教育内容の充実が図られているかどうかを、学習内容を理解している児童・生徒の割合から見る指標です。

■施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 （現状値）	平成20年度目標
□学校、家庭、地域が連携していると思う市民割合	64.9%	→
□学校施設維持管理上の不具合件数	0件	0件

■施策を実現する手段（基本事業の構成）

050101	教育内容の充実
	対象 小学生・中学生
特色ある教育メニューをつくり教育内容の充実を図るなど、小・中学生がきめ細かで、時代に即した教育が受けられるようにします。	

050102	開かれた学校づくり
	対象 小学生・中学生・地域
学校、家庭、地域が連携して開かれた学校づくりを進めることにより、子ども達を健康的に育みます。	

050103	健康と食教育の充実
	対象 小学生・中学生
スポーツや食の大切さを啓発し、小・中学生が健康な体を育めるようにします。	

050104	教育環境の充実
	対象 小学生・中学生
学校施設を整備し、教育環境を充実させることで、小・中学生が安全かつ快適な環境で学習することができます。	

施策 0502 生涯学習の充実

■ 施策をとりまく環境の変化

複雑化・多様化する社会環境のなか、市民が自己を高め自己実現するため人生のあらゆる時期・生活の場において、学習や活動ができるような体制づくりが求められています。また、学習の成果をボランティア活動などで社会に還元できるようにすることも必要です。

■ 施策の目的

生涯にわたって学習できる環境を整えることによって、市民が生涯学習を行う機会が増加し、自己の充実を図り、生きがいを見いだすことができますようにします。

■ 施策の目的達成度に関する指標（施策成果指標）

生涯学習を受ける機会を充実

番号	成果指標名	現状値 平成14年度	前期目標値 平成20年度	後期目標値 平成25年度
01	生涯学習を行う市民割合	47.1%	→	→

◆ 成果指標選択理由

指標 01

生涯学習を行う施設や環境を整えることにより、市民が自ら学習する機会が提供されているかの達成度を見る指標です。

■ 施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 (現状値)	平成20年度目標
□生涯学習施設が充足していると思う市民割合	69.4%	→
□生涯学習機会が充実していると思う市民割合	65.8%	→

■ 施策を実現する手段（基本事業の構成）

050201	生涯学習関連施設の充実
	対象 生涯学習に取り組む市民・団体
図書館や公民館などの施設を充実させることにより、生涯学習に取り組む市民・団体に学習する場を提供することができます。	

050202	生涯学習支援体制の推進
	対象 学習情報の利用者・生涯学習を主体的に行う団体
市民に学習に関する情報を提供したり実施団体に対して補助・支援を行い、利用者が自分たちで活動・学習内容を選択するための情報を得ることができるようにします。	

050203	生涯学習機会の充実
	対象 生涯学習に取り組む市民
生涯学習を受ける機会を充実させることによって、生涯学習に取り組む市民が学習目的にあわせて指導が受けられるようになります。	



施策 0503 青少年健全育成の推進

■施策 をとりまく環境の変化

少子化、核家族化による世代間の断絶、地域連帯感の希薄化を背景に、家庭でのしつけ教育の減少や問題行動の低年齢化などの問題が発生しています。学校・家庭・地域が連携して青少年の健全育成を目指し、相談・指導体制を充実させることが必要です。

■施策 の目的

青少年にとって基本的な生活の場である学校・家庭・地域が連携して青少年の悩みや問題行動の解消に努め、青少年の健全育成を目指します。

■施策の目的達成度に関する指標（施策成果指標）

番号	成果指標名	現状値 平成14年度	前期目標値 平成20年度	後期目標値 平成25年度
01	非行等問題行動 事故報告件数 (補導された 青少年の人数)	217人	210人	200人

◆成果指標選択理由

指標 01

青少年の悩みや問題行動が解消されている達成度を、非行などの問題行動が起きた件数から見る指標です。

■施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 (現状値)	平成20年度目標
□ ボランティア活動や 体験学習活動に参加 する児童生徒の割合	54.5%	

■施策 を実現する手段（基本事業の構成）

050301	青少年健全育成活動の充実 (学校・家庭・地域の連携)
	対象 児童・生徒
学校・家庭・地域が連携して社会ルールの理解や遵守の教育を行います。またボランティア活動や体験学習などの地域教育を通じて、青少年の健全育成を目指します。	

050302	心のケアの充実
	対象 学校生活や家庭生活上の 悩みを抱える青少年及び保護者
学校生活や家庭生活上の悩みを抱える青少年及び保護者が悩みを相談する場を充実させ、解決することにより心身ともに健康な生活を送れるようにします。	



施策 0504 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

■施策をとりまく環境の変化

「物の豊かさよりこころの豊かさ」を求める時代変化を背景に、質の高い生活文化や芸術文化に対するニーズが高まっています。芸術文化の振興や歴史的遺産の保存・活用を通じて特色ある、新しい「ふるさと江別」を目指すまちづくりが求められています。

■施策の目的

鑑賞型の文化事業に加え参加・育成型の文化活動を支援するとともに、文化財を保護し、歴史的遺産を活用した環境整備を進めることによって、市民のふるさと意識を醸成します。

■施策の目的達成度に関する指標（施策成果指標）

番号	成果指標名	現状値 〈平成14年度〉	前期目標値 〈平成20年度〉	後期目標値 〈平成25年度〉
01	芸術文化活動に参加している市民割合	51.5%	→	→
02	江別の歴史と文化に誇りを持ち愛する気持ちをもつ市民割合	40.5%	→	→

文化・文化活動にふれる機会を増やす

◆成果指標選択理由

指標 01

市民意識調査により市民生活を通じ何らかの形で芸術文化活動に参加している市民のかかわりを見る指標です。

指標 02

市民意識調査により江別の歴史と文化に誇りを持ち、愛する気持ちをもつ市民の割合から見る指標です。

■施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 （現状値）	平成20年度目標
□各種文化事業数	150件	160件
□NPO等の芸術文化支援組織数	1件	3件

■施策を実現する手段（基本事業の構成）

050401	自主的市民文化・芸術活動の育成・支援 対象 市民・アーティスト・江別市文化協会	文化事業の補助・支援や施設整備により、市民が質の高い芸術文化に親しめる機会を増やし、理解を深めます。また文化活動の場と発表の機会を広げ、活発に文化活動が行えるようにします。
050402	文化・芸術を支援する市民組織の育成 対象 市民・NPO等文化及び芸術団体	文化支援のNPOや市民メセナ（芸術文化支援活動）などを育成支援し、市民の手による芸術文化事業を拡大します。
050403	文化・歴史遺産の保存と継承 対象 市民・郷土史や芸能等の継承に関わる団体等	史跡整備や文化財・まちの歴史の調査などを行い、江別市の文化・歴史遺産を後の世代に正しく継承します。
050404	れんがの保存と活用 対象 市民・行政・歴史的遺産	れんがによる歴史的建造物の保存と活用を行います。

施策 0505 市民スポーツ活動の充実

■施策をとりまく環境の変化

健康な生活を送るために運動をする市民が増えています。しかし、学校・企業など組織でのスポーツ活動が減少していることから、多様化するスポーツ活動に対応した環境・機会を提供し、市民が心身共に健康な生活ができるようにする必要性が高まっています。

■施策の目的

スポーツ活動の場や機会を充実させ、市民一人ひとりが自らスポーツを行うことにより、心身ともに健康な生活が営めることを目指します。

■施策の目的達成度に関する指標（施策成果指標）

番号	成果指標名	現状値 平成14年度	前期目標値 平成20年度	後期目標値 平成25年度
01	週1回以上スポーツ活動に親しむ成人市民割合	30.6%	→	→

◆成果指標選択理由

指標 01

市民に十分なスポーツ活動の場や機会が提供されているかの達成度を、週1回以上スポーツ活動に親しむ成人市民の割合から見る指標です。

■施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 (現状値)	平成20年度目標
□登録スポーツクラブ数	291クラブ	350クラブ

■施策を実現する手段（基本事業の構成）

050501	スポーツ・レクリエーション施設の充実
	対象 市民
各種運動施設を整備して、市民がスポーツ・レクリエーション活動を充分に行えるようにします。	

050502	スポーツ・レクリエーション機会の充実
	対象 市民
スポーツ団体の育成や地域での活動を推進することによって、誰もが自分にあったスポーツ・レクリエーション活動に参加できるようにします。	

